

登別市観光ボランティアガイド会

登別温泉地獄谷

地域活性化を担う ボランティア・パワー

新たな発見や感動の瞬間に 立ち会える喜び

赤茶けた岩肌の裂け目から、もうもうと立ち上がる噴煙。あたりにたちこめる、むせ返るような硫黄のかおり。「地獄谷」を間近に見下ろす展望台で揃いの半被を身にまとい、訪れる観光客に明るく声を掛けているのが、『登別市観光ボランティアガイド会』のメンバーたちだ。

登別のように「カ所」で多種類の泉質が湧く温泉地は、世界的にも珍しい。その源泉である地獄谷を訪れる観光客は、その迫力と自然の神秘に誰もが圧倒される。

会員数は現在54名。登別市観光ホスピタリティ推進協議会が主催する、ガイド養成講座を受講・修了した市民がその対象となる。平均年齢は66歳で、そのほとんどが定年退職を迎えたお父さんたちや、子育てを終えたお母さんたち。

「間欠泉を間近で見たときのお客さんの表情や歓声に立ち会えるのがなにより嬉しい」。一度でもガイドを経験した人は、皆口々にそう話す。「登別温泉に行つて本当によかった」「私もぜひ行ってみたい」、そう思われるような案内を。地元を愛する彼らの思いは温かいもてなしの心となり、訪れる観光客の元へ届けられる。

世界の人々が相集う 「理想郷」をめざして

毎年5月1日から10月31日までの約半年間、全国から訪れる観光客と散策路を巡りながら、地獄谷やその周辺を案内するのが彼らの役目だ。

登別市が「国際観光レクリエーション都市」を宣言してから20年。1996年から行われた、台湾をはじめとする観光プロモーションの成

果は徐々に実を結び、近年、登別温泉の外国人宿泊者数は全体の10%にまで届きつつある。「海外からの観光客にも、地獄谷の魅力をしっかりと伝えたい」。シーズンオフに外国語の講習会に参加するなど、メンバーたちは語学のスキルアップにも余念がない。かけがえのない自然や素晴らしい景観を、ここから世界に発信することが大きな目標だ。

06年度には、登別観光協会の主催で「夜の地獄谷」にスポットを当てた、新しい事業の展開が予定されている。「鬼火が誘う地獄の谷」と題したこの企画は、鬼火に見立てた灯りや花火、和太鼓などの演出により、普段とはひと味違った地獄谷の表情を楽しんでもらうのが狙い。PR活動など様々な場面での協力を、ガイド会も応じる予定だ。

結成から17年。この地を訪れる観光客や地域との関わりの中で、ガイド会メンバーのモチベーションはますます高まっている。



外国人ツアー客にも対応(写真右)。ガイドの予約は特に必要ないが、12名以上の団体の場合は、事前に申込みが必要。硫黄の香り漂う雄大な景観から、環境省の「かおり風景100選」にも選定されている



1万年前の火山活動がくれた 「地獄谷」の恩恵を世界へ。